

あおり教育フェスタの
発表内容の一部につい
て、紹介していきます！



こんな研究しています！

文責 研究委員会委員長 木村 浩

あおり教育フェスタ2019

研究員研究発表のご案内 日時：11月15日（金）

※詳細につきましては、フェスタ最終案内または当セン
ターホームページをご覧ください。

教育相談課 研究員 井澤 ゆう子



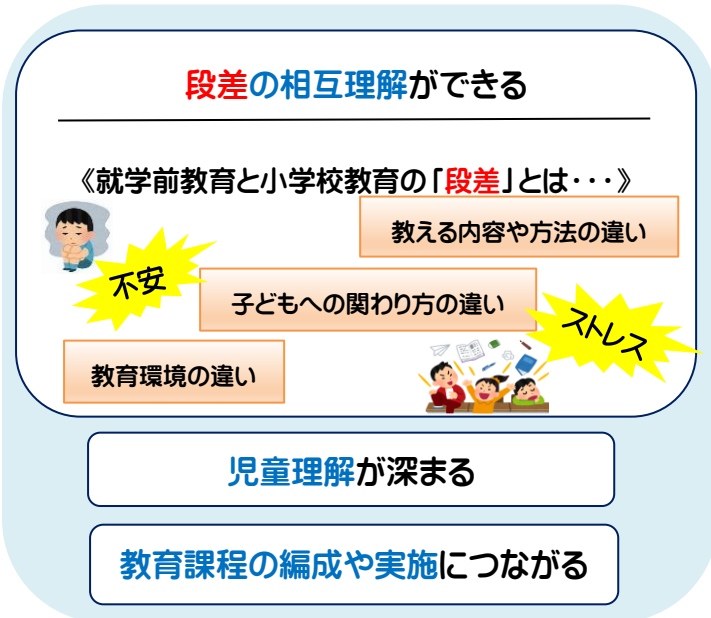
フェスタでは、幼保小
の先生方の話合いの実際
についてご紹介します。

幼保小連携における教職員間の関係構築に関する研究

幼保小の教職員間の関係構築プログラムの作成

プログラムの紹介

～幼保小連携（幼小接続）～
「顔が見える関係＝教職員同士の話合い」が
構築されると…



実施期間	話合いのテーマ
写真や施設見学を通して	
3月	新1年生のための環境整備に向けて
児童の様子を録画した映像を通して	
4月	集会や休み時間等における児童の「褒めたい行動」と「気になる行動」について
5月	集団行動における児童の「褒めたい行動」と「気になる行動」について
6月	給食時間における児童の「褒めたい行動」と「気になる行動」について
7月	授業中における児童の「褒めたい行動」と「気になる行動」について
保育参観を通して	
8月	幼児期における子どもへの関わり方について～年長児の活動から～

結果的に…

円滑な小学校生活のスタート

小1プロブレムの軽減

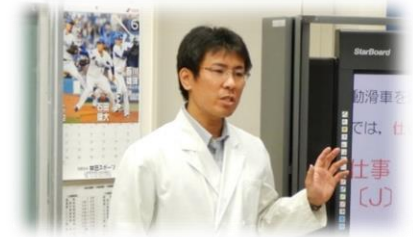
につながるのではないだろうかと考えました。

《先生方の感想》

- ・子どもの成長を感じます。（園の先生）
- ・話してみると分からないことがいっぱいあって…すごい参考になることがたくさん！

（小学校の先生）

中学校理科において、 課題解決の過程を精緻化することで 考察を導出する指導法の研究



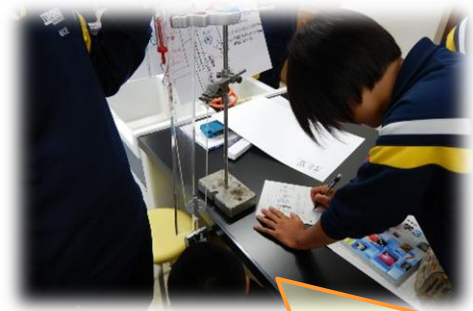
新中学校学習指導要領解説理科編では、探究の過程において自己の考えを形成することを、平成 30 年度全国学力・学習状況調査の報告書では、自分の考えをもち、自分や他者の考えを検討して改善することを改善事項として示しています。これらの改善事項は探究の過程における考察の場面の課題の1つです。自身の実践を振り返ってみても、生徒の考察は科学的な理由づけが乏しく、実験結果を繰り返して述べているだけで指導に課題を感じていました。そこで、国語科で学習する、結果から原因へと逆にたどる「プロット」の手法を参考にして、観察・実験を含む探究の過程を「なぜ？」と問いながら逆にたどることで、考察に対する理由づけがしやすくなる考察プロットシートを開発しました。生徒がシートを用いることは、課題解決の過程の精緻化に繋がり、自己の考えを形成したり自分や他者の考えを検討して改善したりすることを促し、考察を導出することに有効であると考えました。

【課題解決の過程を考察プロットシートで精緻化する】



《課題解決の過程》

- ①課題の設定 (シート記入)
 - ②仮説の設定 (シート記入)
 - ③観察・実験方法の立案
 - ④観察・実験の実施
 - ⑤考察 (シート記入)
- 「証拠」「理由づけ」「主張」
- ⑥まとめ



《生徒のアンケートから》

- ・「証拠」と「理由づけ」を書けるようになった。
- ・偏見がないか考えるようになった。

内容の詳細は、あおもり教育フェスタ 2019でお伝えします！

あおもり教育フェスタ2019
令和元年11月15日(金)・16日(土)

KonKen 作成担当 産業教育課 石田 尚将 電話 017(764)1994

Center Information
Aomori Prefectural School Education Center